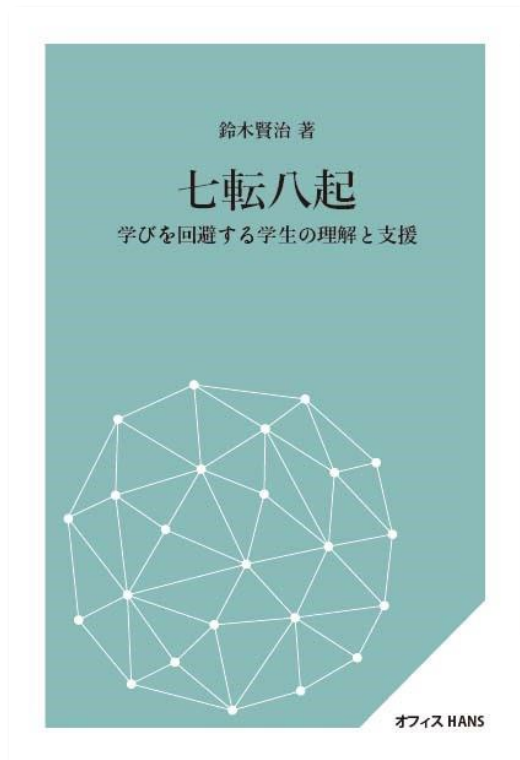


七転八起 学びを回避する学生の理解と支援

新潟大学教育学部教授・鈴木賢治／著 四六判 150 ページ(本体 1,400 円＋税)



学ぶ意欲が低く、授業を欠席し、単位取得はままならず、留年を繰り返す。サークルやアルバイトなどの副業は問題なくできるが、本業には意欲が感じられない。…その学生が、紆余曲折を経ながら、やがて自力で回復していくのであれば、心配は無用である。しかしながら、このような学生を放置していても改善する見込みは少なく、留年を繰り返した後に退学や除籍となり、大学を去る例もある。…本書は、このような現状を何とか打開するために、困難を抱えた学生に対して、私たちの解釈を変えて、どう向き合うべきかを考えたものである。そして、当該学生や保護者にも参考になると思う。また、将来の大学生を送り出す学校教員の方にもぜひ本書を読んでいただきたい。(「序」より)

第一章 「こころ」の発達

なぜ「こころ」が必要なのか／「こころ」のコアの形成／人生の課題／共同体感覚／対等平等の哲学と協力／個人主義と権威主義／人間的成長の障害／劣等感と歪んだ優越性／甘やかし／無関心／勇気くじき／大人になるということ

第二章 困難を抱えた学生の理解

危険な無目的入学／回避行動／サークル、部活動／アルバイト／退却神経症(ステューデント・アパシー)／自己中心と他者理解／説明できない行動—観点別学習の弊害／自己主張の重要性／自我の形成／自立できる「こころ」

第三章 学業への回帰と退却の克服

目標と方法の乖離の認識／決定論から目的論へ／課題の整理／やればできる？／目的をつかむ認識力／無力の痛感／規則正しい生活／依存症に学ぶ退却の克服／生活の見直し／粘り強い指導／真の勇気付け／人間的成長／魔の長期休暇／心の置き場所／信頼関係／親の力の限界